

# ◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロン太陽熱高反射率 水性C-SR		
◇適用素地	PCa板、押出成型セメント板、ガラス繊維補強セメント板 ※外壁専用		
◇使用材料	下塗1	ボンカチオンプライマー	15.0 kg/缶
	下塗2	ボンフロン水性用プライマーSエナメル	15.0 kg/缶
	中塗	ボンフロン水性サンバリア中塗(艶消)	15.0 kg/缶
	上塗	ボンフロン水性サンバリアSR上塗	15.0 kg/缶

工程	使用材料	調合 粉体:混和液	希釈率 (%)	標準所要量 <sup>注1</sup> (kg / m <sup>2</sup> )	塗 回数	塗装間隔(23°C)		施工方法	
						工程内	工程間		
素地調整	被塗装面をチェックし、塗装に支障のある付着物、汚れ等を除去する。								
1	下塗1	ボンカチオンプライマー	:	0.10 ~ 0.20	1	-	2h以上	刷毛 ローラー スプレー	
2	下塗2	ボンフロン水性用プライマーSエナメル	:	清水 0 ~ 15	0.12 ~ 0.15	1	-	2h以上	刷毛 ローラー スプレー
3	中塗	ボンフロン水性サンバリア中塗(艶消)	:	清水 0 ~ 5	0.13 ~ 0.18	1	-	4h以上	刷毛 ローラー スプレー
4	上塗	ボンフロン水性サンバリアSR上塗	:	清水 0 ~ 5	0.13 ~ 0.18	1	-	-	ローラー スプレー
合 計					4				

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 塗装間隔の時間は、雰囲気温度が23°Cでの結果を記載しております。

従って、実施工においては現地の雰囲気によって変動します。

注3) 素地の表面pHが10以下で含水率が10%以下の素地であること。

注4) ボンカチオンプライマーの所要量は素地の吸込み状態によって変動します。

吸込みの多い素地の場合は数回程度塗布してください。

注5) ボンフロン水性サンバリアSRは、標準所要量を下回りますと意匠的には仕上がりますが、十分な耐久性能並びに耐候性が得られなくなります。

また、低汚染性付与の目的で使用するボンフロン水性サンバリアSRは、通常タイプのボンフロン水性W#1500より造膜までに時間を要しますので、塗装初期の降雨や結露等の水分には曝されないようにしてください。

※ 水性塗料を使用する際は、低温下の凍結・素地の含有水量・降雨等で造膜不良を生ずる恐れがありますので作業環境には充分注意して作業を行ってください。

※ 塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点(水性)」を参照ください。